祝　府中第五小学校創立 150 周年

学校だより特別号　第 1 号　　**令和5年6月13日**

府中市立府中第五小学校　校長　森嶋　正行

藤田英孝氏と巡る歴史散歩

創立150周年の佳節を迎えた府中第五小学校。現在29学級（含特別支援学級6学級）児童数784名の学校です。青々とした校庭の芝生に小鳥たちが虫を突いています。栽培委員会の子供たちが育てる花々と生活環境委員会の子供たちの挨拶の声が響く朝、子供たちの元気な声と共に今日も府中第五小学校の 1 日がスタートします。社会の出来事に翻弄されながらも変わらない子供たちの笑顔と共に歩んだ150年。学校はいつでも子供たちのものです。

今回府中第五小学校創立150周年の意義を込め、初代校長　藤田真輿先生のお孫さんである藤田英孝（ひでたか）さんとの西府村を巡る談義を皆さんにも紹介したいと思います。私が府中第五小学校校長として着任した昨年令和4年4月藤田さんと出会い、度々西府村にかかわる歴史談義をしてきました。府中第五小学校にかかわる皆様にもこの歴史談義に加わっていただく気持ちで特別号を発行します。

藤田英孝氏と校長室にて

創立150周年を迎える府中第五小学校

①　発祥の地～育幼学舎(いくようがくしゃ)

育幼学舎があった稲垣茂夫さん宅

令和5年度、府中第五小学校は創立150周年となります。明治 6 年 5 月の開校であり、府中市内最古の公立小学校です。府中五小は明治、大正、昭和、平成、令和と五つの時代を児童、保護者、地域の人々の学校教育に対しての期待と熱意に対応するために教育活動に専念してきました。この歴史と伝統に輝く府中五小の歩みを改めて振り返ってみたいと思います。

【四ヶ村連合による育幼学舎の創設】

江戸時代には現在の学校に相当する教育機関として藩校(はんこう)、手習塾（てならいじゅく）、寺子屋（てらこや）などがありました。明治 5 年、明治新政府は学制（がくせい：学校教育に関する制度）を発布（はっぷ：広く知らせること）し、近代学校制度を開始しました。明治 6 年 5 月、現在の府中市域で最も早く学校を創立したのが西部地区の屋敷分（やしきぶん）、本宿、中河原、四谷の四ヶ村連合（よんかそんれんごう）による育幼学舎（いくようがくしゃ）です。これが府中第五小学校の源流（げんりゅう）となります。

【屋敷分（やしきぶん）とは】

屋敷分（やしきぶん）とは現在の美好町 3 丁目に相当する地域で、古代の府中に国府（こくふ）があった奈良、平安時代に、その役所に務める役人の屋敷があったので屋敷分（やしきぶん）という地名になったというのが由来です。

【手習塾での教育から近代学校教育へ】

樹齢 100 年を超える
もみじ（稲垣氏宅）

幕末から明治維新（めいじいしん）の頃、屋敷分（やしきぶん）には石坂塾（いしざかじゅく）という手習塾（てならいじゅく）がありました。塾は石坂実福、信民、実行と三代にわたって継承（けいしょう）され、近隣の子弟に主に漢籍(かんせき:漢文で書かれた書物)を中心とした指導をしていました。習字や素読（そどく:内容の理解に重点を置かず、文字のみ声に出して読むこと）を繰り返し、人倫（じんりん:ひと）の道を説いていく教育でした。学制発布（がくせいはっぷ）を機会にして、この石坂塾の教室を借用して公立の小学校、育幼学舎（幼き者を育む学び舎）として四ヶ村（よんかそん）で西部地区の近代学校教育は開始されました。府中五小の源流であり、今から 150 年前の府中五小の学校教育の始まりです。石坂塾の石坂実行先生も育幼学舎の教員として大いに張り切って教育活動に専念したと考えられます。

【育幼学舎のあった場所】

育幼学舎のあった場所は、美好町 3 丁目の甲州街道沿いにあるスーパーマーケットの「いなげや」の斜め前になります。学舎があったとされる跡地には、まるで往昔（おうせき:過ぎ去った昔）の石坂塾や育幼学舎を知っているかのように、屋敷稲荷（やしきいなり）が鎮座（ちんざ）しています。

育幼学舎跡地にある屋敷稲荷

【屋敷分の村社（そんしゃ）】

府中五小の源流である育幼学舎は屋敷分の石坂塾の教室で明治 6 年 5 月から翌年 7 月 5 月まで1年間教育活動を実践しました。

屋敷分の村社：浅間神社

石坂塾や育幼学舎の跡地西側の分梅通り沿いには四ヶ村連合の一村である屋敷分の村社(そんしゃ)、浅間神社の鎮守（ちんじゅ）の森が静かな佇まい（たたずまい）を見せています。

浅間神社鳥居横に立つ、府中市最古の庚申塔（こうしんとう）

参考文献:「府中市教育の歩みー府中市教育史普及版」府中市教育委員会
「五小百年史」創立百周年記念事業協賛会

藤田英孝（ひでたか）氏略歴

奇秀尋常（きしゅうじんじょう）小学校（現府中第五小学校）初代校長藤田真與校長のお孫さん
昭和 18 年 3 月 10 日生。西府村本宿（現府中市本宿町）出身。市内美好町在住。
昭和 30 年 3 月府中第五小学校卒業　　昭和 33 年 3 月府中第四中学校卒業
昭和 36 年 3 月高千穂高等学校卒業　　昭和 41 年 3 月法政大学文学部英文学科卒業
昭和 41 年 4 月から昭和 45 年 3 月安田学園中学高校英語科教諭
昭和 45 年 4 月から平成 15 年 3 月川崎市立中学校（平間・西高津・稲田・金程・中野島）英語科教諭
平成 25 年 9 月郷土史の執筆活動が評価され、ふちゅう元気一番賞受賞
現在:府中市史談会会員。武蔵府中熊野神社古墳展示館受付。
川崎市立中学校特別支援学級非常勤講師。趣味は郷土史。